

# こどものけんり

資料 4

令和7年5月

Vol. 1

## 差別の禁止

こどもはどんな理由があっても差別されない。違いを認め尊重し合うことが大切。

子どもの権利条約は、1994年に日本が批准した法的拘束力のある国際法で、世界中、すべてのこどもが持つ基本的人権を定めた条約です。子どもの権利条約には、特に大切な4つ原則があります。

## こどもの意見の尊重

大人はこどもが意見を言える場を作り、その意見を大切にしないといけない。

## こどもの最善の利益

こどものことについて決めるときは、こどもにとって一番いいことは何かを考える。

## 生命・生存・発達に対する権利

こどもの命は守られ、能力を伸ばし成長できる権利がある。



令和5年4月に施行されたこども基本法は、すべてのこどもが幸せな生活を送ることができる社会を目指して、その基本的な考え方を示し、社会全体で、こどもに関する取組「こども施策」を進めるためにつくられ、子どもの権利条約の4つの原則が盛り込まれています。

このうち第11条では、条約の「こどもの意見の尊重」にあたる「こども施策に対するこども等の意見の反映」が定められました。

子育て支援課では、この考え方にに基づき、こどもの意見を聴く取組を実施しています。

こどもの意見を聴いて、市の事業に反映させていくことで、こども基本法の目指す「こどもまんなか社会」を目指していきます。

令和7年度に策定するこども計画では、令和6年度に実施した意識・実態調査や、個別に実施している意見を聴く取組から寄せられた意見を反映させていく予定です。

### ●こども基本法:第11条(こども施策に対するこども等の意見の反映)

第十一条 国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

### ●こどもの意見を尊重しながら実施した『みんなでふれあい動物園』を開催しました !!

令和7年1月19日(日)に地域のふれあい動物園イベント

「みんなでふれあいどうぶつえん」を開催しました。当日は485人のこどもが来場し、保護者や地域の方を含めて約900人がポニー乗馬やモルモットの抱っこなどの動物とのふれあい体験を楽しみました。

本イベントでは、こどもたちが意見を出し合って動物園の名前や展示の内容を考え、当日はお客さんの案内や体験のお手伝いもしました。

お客さんの笑顔のために頑張った経験や動物たちとのふれあいは、こどもたちにとって貴重な機会になりました。

イベントレポート動画がYouTubeで視聴できます。(3ページを参照)



## ●さまざまな年代のこどもの声を聴きました!!



### 小平四中 生徒

- ・小平市の良いところは、自然が多く残っているところ。公園、図書館など、こどもが安心して過ごせる場所があるところ。学校の給食がおいしいところ。
- ・小平市の良くないところは、遊具が撤去されてしまい、何もなくなってしまった公園があるところ。ボール遊びができる場所が少なくなってしまった。通学路に古くなった空き家があって不安。

### 小平西高 生徒

- ・小平市の良いところは、人が多すぎなくて、あったかい感じ。都心へのアクセスがよい、急行が停まる、バスが多い。自然や大学が多い、住みやすい、ホームページがわかりやすいところ、ルネこだいらのような施設が合唱コンクールで使えるのは貴重。
- ・小平市の良くないところは、若者向け施設が少ない、施設の老朽化、買い物をする場所が少ない。夜になると道が暗い、遅くまで使用できる自習室がほしい。

若者が意見を表明しやすい方法は？

- ・学生と市職員が共に話す場があり、さらにラジオを通じて色々な人がその話を聞ける場があると意見を言いやすい。
- ・他大学との学生の交流や、市職員と話し合うことにより、新たな視点に気が付くことができ、市への関心をより高めると同時に、自分の意見が言いやすくなる。また、意見がじかに伝わり、意見が反映されやすくなるメリットも。

### 武蔵野美術 大学生

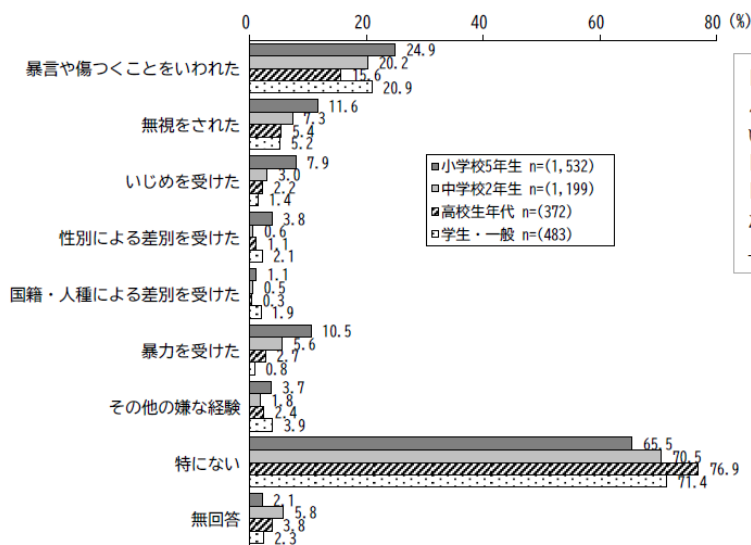
## ●こども・若者の意識実態調査からわかったこと(令和7年3月)

直接意見を聴く取組のほかに、小学校5年生、中学校2年生、高校生年代から29歳までの若者世代に、アンケート調査を実施しました。

### 普段のことについて

(本編P.34)

問 あなたは、この1年くらいで次のような経験をしたことがありますか。(〇はいいくつでも)



「特になし」を除くと、経験がある中では、「暴言や傷つくことをいわれた」が最も高く、次いで「無視をされた」となっている。「無視をされた」、「いじめを受けた」、「暴力を受けた」は年代が上がるほど減少傾向がある。

自分を大事にすること、  
人を大事にすることは  
権利を守ることに  
つながります

詳しくは「こども・若者の意識・実態調査報告書」をご覧ください。

こちらの二次元コードからアクセス

こどもとは、子どもの権利条約では18歳未満を指しますが、  
こども基本法では「心身の発達の過程にある者」とし、年齢で区切っていません。



## ●武蔵野美術大学生の意見を反映しました!!

武蔵野美術大学の学生さんからいただいた提案を反映する形で、令和7年4月11日（金）に学生さんと職員でコミュニティエフエムラジオ局・TOKYO854くるめらの番組「ほくほくラジオ」に出演し、今回の提案内容を紹介しました。

出演後、学生さんからは、「授業で提案した内容が実現するとは思わなかったのでとてもうれしい」「一度ラジオに出演してみたことで、こういったラジオだったらみんなに聞こうと思ってもらえるのかなど具体的に考えられるようになった」との感想をいただきました。

提案の中には、武蔵野美術大学の学祭のPRなどを行うというものがありましたので、再度の出演に向けて調整中です。

番組のyoutubeアーカイブ映像

<https://youtu.be/xca6jUuVF44>



Spotify番組アーカイブ音源

<https://open.spotify.com/episode/1NDzx93YOy9cdcxzYyeJ74>

## 動画はこちらからご覧いただけます

【（公財）ハーモニセンター×小平市 協働イベント】

小平市で動物広場の運営体験！

～子供たちが考えた「みんなでふれあいどうぶつえん」を運営しよう～  
イベントレポート動画

[https://www.youtube.com/watch?v=\\_ri9Btjjb9k](https://www.youtube.com/watch?v=_ri9Btjjb9k)



## 「こどもの権利」 講演会を開催します

11月15日（土）に、「こどもの権利」に関する講演会を開催します。

講師はFC東京の石川直宏氏を予定しています。

プロサッカー選手として、指導者として、また子育て中の親として、  
「ご自身の経験」×「こどもの権利」はどのようなお話となるのでしょうか。  
詳細が決まりましたらまたお知らせします。